

仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 基本目標と施策の体系（案）

1 基本目標

本計画では、現在策定中である新「仙台市基本計画」に掲げる目指す都市の姿や「(仮称) せんだい支え合いのまち推進プラン（仙台市地域保健福祉計画）」をはじめとした本市の関連計画、高齢者保健福祉施策を推進していく上での課題を踏まえ、次の基本目標を掲げます。

【基本目標】

高齢者が健康で生きがいを感じながら、社会を支え続けるとともに、地域で安心して誰もが自分らしく暮らすことができる社会の実現を目指します

2 施策の体系

基本目標の実現に向け、次の「3つの基本的な方向」のもと、「7つの施策」を設定し、取り組んでいきます。

【方向1】健康寿命を延伸するとともに社会で活躍し続けるために

今後も平均寿命が延びることが見込まれる中、「できるだけ長く健康でいたい」というのは誰しもの願いです。

また、高齢者がいつまでも元気に、生きがいを持って活躍することは、社会の活力の源になります。

明るく活力に満ちた高齢社会の実現に向けて健康寿命を延伸し、生活の質（QOL：Quality of Life）の維持・向上を図るために、高齢者の健康づくりや生きがいづくりに取り組みます。

（施策1）高齢者の健康と元気を応援する地域づくりと支援の充実

高齢になってもできるだけ長く心身ともに健康な生活を送れるよう、フレイル予防や介護予防に自主的に取り組むことができる身近な通いの場などの環境の整備や活動の支援に加えて、適度な運動や生活習慣病の対策などを踏まえた健康づくりを介護予防と保健事業の一体的な実施により推進していきます。

(施策2) 高齢者が生涯活躍できる環境の整備

高齢者が、知識や経験、能力を生かし、あるいは、知識や経験などの有無に関わらず、元気に活躍し続けられるよう、多彩な学びの機会の提供や就労、ボランティア活動、地域活動等への支援など、高齢者の生きがいづくりや仲間づくり、社会参加の取り組みを進めます。

【方向2】共に支え合い安心して暮らし続けるために

高齢者のひとり暮らしや高齢者のみの世帯のさらなる増加が見込まれる中、日常生活上の支援が必要になっても、住み慣れた地域などで安心して暮らし続けることができる環境を整えることが一層求められています。

地域の支え合いを深めるために、住民同士のつながりや、その地域で活動する団体などの資源を生かしながら、地域の特性や実情に応じた見守りや支え合いの体制づくりに引き続き取り組みます。

さらに、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症になっても周囲や地域の協力のもと、希望を持って前を向き、自分らしく暮らし続けるために、認知症の本人やその家族の視点を重視した認知症施策の推進を図ります。

(施策3) 自立した生活を続けるための生活支援体制づくりの強化

日常生活上の支援が必要になっても、高齢者が住み慣れた地域などで安心して暮らし続けることができるよう、地域の力も活用した多様な生活支援サービスの提供をはじめ、高齢者の尊厳を保持するため、虐待防止や成年後見制度の利用促進などの権利擁護の取組を進めます。また、高齢者が心身の状態やライフスタイルに応じて、適切なすまいとすまい方を選択できるよう、居住環境の整備に取り組みます。

(施策4) 地域の多様な主体が連携する地域ネットワークづくりの推進

高齢者が住み慣れた地域などで安心して暮らし続けることができるよう、地域における支え合いの機運醸成に引き続き取り組み、地域の住民や活動団体などによる見守り・支え合い活動の充実に向けた支援を進めます。また、地域包括支援センターによる支援の充実とともに、医療や介護などをはじめとする様々な専門職や関係機関などの連携強化を図り、関係する全ての人が「我が事」として「丸ごと」つながる、地域ネットワークづくりを推進します。

(施策5) 認知症の人が希望を持って自分らしく暮らし続けることができる まちづくりの推進

認知症は誰もがなりうるものであり、家族や身近な人が認知症になることなどを含め、身近なものとして認知症の理解促進を図るとともに、認知症の人が希望や生きがいを持って自分らしく暮らし続けることができるよう、活躍できる場や機会をつくる取組を推進するなど、当事者や家族の視点を重視しながら「共生」と「備え」を車の両輪として、認知症施策を推進します。

【方向3】 介護サービス基盤の充実と介護人材の活躍を支えるために

高齢者人口が増加することに伴う介護サービス需要の増加に対して、地域の特性を踏まえ、効果的な介護サービスの提供体制を整備するとともに、多様な介護人材確保、介護現場の業務効率化など介護人材が働きやすい環境づくりを進めます。

(施策6) 効果的な介護サービス基盤の整備

介護サービスの需要を中長期的に踏まえたうえで、高齢者が適切な介護サービスを受けることができるよう、サービス基盤の整備を進めます。とりわけ特別養護老人ホームなどの施設サービスや認知症高齢者グループホームなどの地域密着型サービスについては、サービス付き高齢者住宅や有料老人ホームの設置の推移も念頭に置き、地域の実情も踏まえつつ、計画的な整備に努めます。

また、大規模災害や新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、避難訓練や感染拡大防止策の周知啓発、感染症対策に必要な物資の備蓄など、継続してサービスが提供できる体制づくりに取り組みます。

(施策7) 多様な介護人材の確保・育成と働きやすい環境づくりの推進

将来にわたって介護人材が確保され、質の高いサービスが安定的に提供されるよう、多様な人材の参入など介護人材のすそ野を広げる取り組みの推進や介護職員のスキルアップ、キャリア形成への支援をします。

また、業務の効率化を図ることにより、介護現場の生産性を高めるとともに、介護職員の業務負担を軽減し、働きやすい環境づくりを推進します。